

YAMAHA

2サイクルスポーツ

PURE SPORTS

RZ125



体感、RZレスポンス。

市販レーサーTZの流れをくむマシンとして、あくまで本格であることにこだわり、

原点を見つめ続けてきた2ストローク・ピュアスポーツRZ125がいま、その実力にさらに磨きをかけて現われた。最高出力22ps/9,500rpmを発揮する水冷2ストロークエンジンには、ヤマハ独創のあのY.P.V.S.(ヤマハ・パワー・バルブ・システム)を搭載。

別体サイレンサー付チャンバー型マフラーや高速遅角型・電子進角式CDI点火などと相まって、

よりトルクフルな低・中速から伸びやかな高速まで全域にわたり、2ストロークならではのクイックレスポンスが満喫できる。

このハイパフォーマンスを発揮するパワーユニットに呼応してシャシーまわりもさらに熟成。

フロントフォークをサイズアップしたうえで16インチホイール&タイヤ(フロント)を装備するなど、

マシンとしてのトータルなポテンシャルをさらに高次元へと引きあげた。ニューRZ125。

鋭く、しかも伸びやかなそのRZレスポンスを体感する時、

ライダーはピュアな“2ストロークスピリット”に遭遇する。



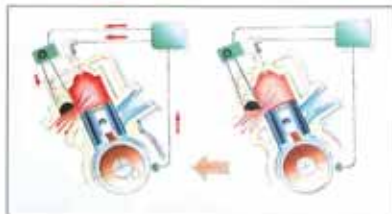
この写真はプロフェッショナル

Y.P.V.S.搭載、新設計高效率マフラー、フロント16インチホイール&タイヤ。これは、まさに2ストローク・ピュアスポーツの走りだ。

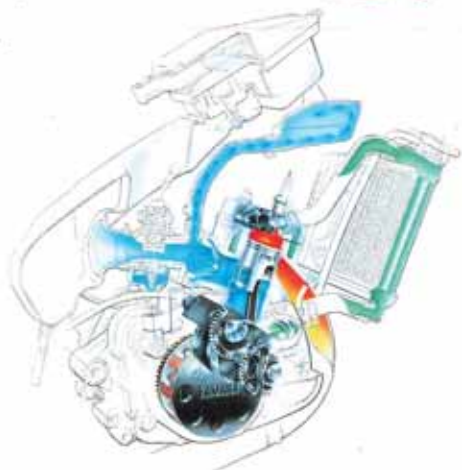
吸気ポート形状など、その基本から高い効率の獲得を追求し、最高出力22ps/9,500rpm、最大トルク1.7kg-m/9,000rpmのパフォーマンスを身につけている。そのうえで、ヤマハ独創の電子

制御による排気コントロールシステムY.P.V.S.(ヤマハ・パワー・バルブ・システム)を搭載。GPレーサーYZRや市販レーサーTZなどによる2ストローク・レーシングテクノロジーの

蓄積から生まれたこのY.P.V.S.は、つねに最適の排気タイミングを獲得するという役目を持つ。その仕組みは、マイコン内蔵のコントロールシステムが、CDIユニットからのエンジン回転数信号を検知。これに合わせて、排気ポートに設けた可変バルブ(パワーバルブ)をサーボ



モーターで駆動するというものだ。これにより、RZ125は、2ストロークならではの魅力である鋭い瞬発力を全域にわたって発揮しながら、特に低・中速域のトルクをも大幅にアップ。クラスを超えた豊かでパワフルなエンジン特性を手にしたのだ。しかも、Y.P.V.S.には、イグニッションをONにするとパワーバルブが全開となり始動性を高めると同時に、そのたびにカーボンを除去するスターティング&セルフクリーニング機構も備えている。エンジン特性だけでなく、多岐にわたる扱いやすさを高次元で実現しているといわれた。さらにY.E.I.S.(ヤマハ・エナジー・インダク



全域で体感できるRZレスポンス。

Y.P.V.S.搭載、水冷2ストロークエンジン

RZ125のパワーユニットは、水冷2ストローク123ccエンジン。吸気効率の向上を目指した



①メーターパネル&ハンドル
まわり：情報を正確にライダーへ伝える簡潔なメーターパネル。また、レーサータイプグリップを持つセパレートハンドルは、体にびたりなじみ適度な前傾姿勢と鮮やかな操縦感覚をもたらす。
②アンダーカウリング：パワーユニットまわりの空気を整える、ピュアスポーツにふさわしいフィーチャー。
③別体サイレンサー：サテンメッキ施した本格派。

ションシステムも搭載し、吸気効率の向上を実現していることはもちろんだ。そして、これらさまざまなテクノロジーの総合的な効果は、55km/ℓ(50km/h定地走行テスト 運輸省届出値)というすぐれた燃費性能にも現われているのである。

高速遅角型・電子進角式CDI点火

高回転域まで正確かつスムーズに追随し、つねに最適な点火タイミングを確保する高速遅角型の電子進角式CDI点火を採用。これにより、回転のスムーズな伸びとフレキシブルなエンジン特性を実現している。

高い排気効率かつゆとりパワーに現われる

別体サイレンサー付チャンバー型マフラー

そのパワーフルでフレキシブルなエンジン特性を

さらに高度なものとするため、排気効率の高い多段階膨張タイプの別体サイレンサー付チャンバー型マフラーを採用。しかも別体サイレンサーには、サテンメッキを施し、RZならではのレーシーなイメージをもたらしている。また、2ストロークサウンドを生かしながら、すぐれた消音効果を発揮するチューニングを施している。



フロント16インチホイール&タイヤをはじめとする軽快フットワークのためのシャシー

フロントには、RZの名にふさわしい軽快なフ

ットワークをもたらす16インチタイヤを、ヤマハピュアスポーツならではのシャープなニューデザイン16インチホイールとともに装備した。そのうえで、ワイドプロファイルのタイヤ(フロント・80/100-16 45P、リヤ・90/90-18 51P)とワイドホイール(フロント・185-16、リヤ・215-18)を採用。

φ33にサイズアップして剛性を高めたフロントフォーク・インナーチューブ、慣性モーメントの低減を図ったフロントフォークまわりのセッティングやアルミスタビライザーなどとともに、シャープなノン



ドリングと安定した操縦性を巧みにバランスさせている。さらにタイヤパターンまでも新たに開発して、グリップ力をさらに向上させた。フレームはしなやかでシャープな走りの基本をカタチ造る、高剛性・強靱・軽量の高張力鋼管製。そしてリヤサスペンションは、すぐれた路面追随性を発揮するモノクロスサスペンション。もちろん、長時間走行にも安定した減衰能力を維持するダブルカルボンタイプのクッションユニットを採用している。

サーキットで鍛えあげた対向ピストン型

キャリパー・フロントディスクブレーキ

レーシングテクノロジーの蓄積から生まれた対向ピストン型キャリパー・ディスクブレーキをフ

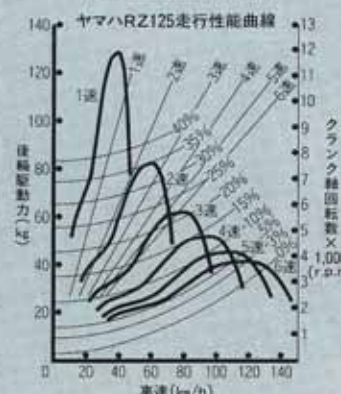
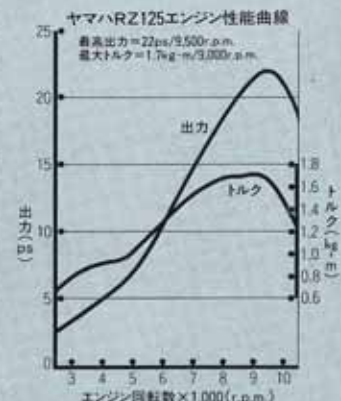
ロントに装備。RZならではの2ストロークパワーに対応した高い制動力を確保している。

RZの名にふさわしい充実したフィーチャー

- 45/45Wの強力な角型ハロゲンヘッドランプ
- シンプルなデザインで視認性にすぐれた水温計装備のメーターパネル
- レーシーなセパレートハンドル&レーサータイプグリップ
- 足つき性にすぐれた低シート高755mm
- 精悍なアンダーカウリング
- RZパワーを強調する別体サイレンサー
- ブレーキライニングの摩耗状態がひと目で確認できるリヤブレーキライニング摩耗インジケーター



RZ125仕様表	
機種コード	1GV
全長/全巾/全高	1940mm/635mm/1020mm
軸間距離	1275mm
シート高/最低地上高	755mm/165mm
乾式重量	98kg
燃費・定地走行テスト値	55km/l (50km/h)
最小回転半径	2.5m
制動停止距離	8.0m (35km/h)
エンジン種類	2サイクル・水冷・ピストンリードバルブ
気筒数配列・総排気量	単気筒123cc
内径×行程	56.0mm×50.0mm
圧縮比	6.4:1
最高出力	22ps/9,500rpm
最大トルク	1.7kg-m/9,000rpm
始動方式	キック式
点火方式	CDI
燃料タンク容量	13.0l
オイル容量	1.1l
潤滑方式	分離給油
バッテリー容量/型式	12V-5Ah (10Hr) / 2905-3B
1次減速機構/減速比	ギヤ/3.227 (22/71)
2次減速機構/減速比	チェーン/2.875 (46/16)
クラッチ形式	湿式多板
変速機形式	リダクション式6段
変速比	2.833/1.812/1.368/1.142/ 1.000/0.916
フレーム形式	鋼管ダブルクレードル
キャスト・トレール	25°30'/86mm
タイヤサイズ 前・後	80/100-16 45P-90/90-16 51P
制動装置 前	油圧式シングルディスクブレーキ
制動装置 後	ドラム(リーディングブレーキ)



RZ125

標準現金価格 ¥283,000 (北海道および沖縄を除く)

- ホワイト/チャビイレッド
- ホワイト/クールブルー

ヤマハライディングスクール(YRS)に参加しませんか。●安全運転の基本や、正しいライディングテクニックを身につけるために、YRSで学んでみませんか。●全3コース。基礎的な技術を確認するためのオンロードコース、中・高速走行のトレーニングを主体とするサーキットランコース、オフ走行の技術を培うオフロードコースがあります。●国際A級ライダーやヤマハ安全運転推進本部インストラクターが実践的なテクニックや安全の心を楽しく指導します。●お申込み、お問合せは、YRSのマークのあるお近くのヤマハスポーツ店へ。

新しいバイクの買い方です。簡単な手続きとわずかな頭金があれば最長20回までの分割払いでお好みのバイクがすぐ手に入るしくみ。月々の支払い方法もお好み次第。幾通りものコースから自由に選べる便利さです。

手続きかんたん

支払いらくらく

ヤマハ
らくらくクレジット

●燃費は定められた試験条件のもとでの値です。従って走行時の気象・道路・車両・整備などの諸条件によって異なります。●本仕様は予告なく変更することがあります。●仕様変更などにより、写真や内容が一部実車と異なる場合があります。●ボディカラーは印刷のため、実物と異なって見える場合があります。

HAVE A NICE RIDE! ナイスライディングをよろしく。■ヘルメットを正しくかぶりましょう。■点検・整備を忘れずに。■安全のため改造はやめましょう。安全速度で走りましょう。無理な追い越しはやめましょう。カーブではスピードをひかえめに。よく見る、よく見られることに努めましょう。早朝・夕暮れは早めにヘッドライトの点灯を。ヤマハライディングスクールで、正しいライディングテクニックをマスターしましょう。

ヤマハ発動機株式会社
〒438 静岡県静岡市東区2500
TEL:05383 (2)1111

YAMAHA
R504-50D/3-011249